

学年 第1学年

時間 1時間 鑑賞25分(表現の導入として) 表現25分

題材 人物画

O 76	少女全身	小早川篤四郎	1930年制作	全身像
O 30	婦人像	田中万吉	1925年制作	半身像
D 197	婦人像(正面)	小林千古	1893年制作	胸像
J 171	むらのこども	和高節二	1927~28年頃制作	頭像
O 204	コミサ(洋傘による少女)	靄光	1930年制作	半身像(横顔)
O 241	英国農夫の顔	南薫造	1907年制作	頭像(横顔)
P 50	二十の肖像	吉原英雄	1979年制作	頭像(半面)
J 217	陰謀	浜崎左髪子	1980年制作	群像
O 63	炭焼き風景	岩岡貞美	制作年不詳	点景
D 224	綱わたり	戸張孤雁	1913年制作	クロッキー

題材について

「人物」も「風景」「静物」と並んで絵画ではよく取り上げられるモチーフの一つである。中学校でも「友だちの顔」などのテーマでよく取り組まれていると思う。

広島県立美術館にも人物をモチーフとした秀作が数多く収蔵されている。それらはいずれもモデルの外見をなぞただけのものではなく、人物の内面を表現したり、モデルの姿をかりて画家が自分の気持ちを表現したりしているように見える。

中学校の表現の授業では構図の取り方、形を正確に捉えたり陰影をつけて立体感を表現したりすることに重点が置かれることが多いと思う。

多くの人物画の中からさまざまな構図、表現で描かれた作品を選び、鑑賞することで技術的な面も学ばせながら、人物画を描くことで画家が表そうとしたものを感じ取り、自らの制作につなげていくような活動ができればと思う。

指導要領との関連

[第1学年] 2内容 B鑑賞 ア

[第2学年及び第3学年] 2内容 B鑑賞 ア

目標

- ・人物画の作品を見て絵の持っている雰囲気気付く。
- ・人物画の構図、表現の方法を理解する。
- ・構図、形、明暗の目標をもって「友だちの顔」のデッサンに取り組むことができるようにする。

学習展開

学習活動(予想される生徒の反応)	学習内容	指導上の留意点
10点の作品にそれぞれ「希望」や「不安」など二字熟語(または単語)の題名をつけてみる。 発表する。	作品の図版を掲示する。 第一印象で浮かんだ言葉を発表させ、それぞれの絵が持っている雰囲気(感情)を確認させる。 人物画を見たときに、自分なりに絵から伝わってくる雰囲気を感じ取ったことに気付かせ、モデルに似ているとか似ていないとかは重要でない(分からない)ことに気付かせる。	作品図版をじっくり見て、絵から伝わってくる雰囲気を自分なりの言葉で表すことができるか。

<p>人物画の構図、表現方法を知る。 いろいろな表現があるが、今回は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構図を考える ・形を正確に描く ・陰影をつけて立体感を表現する <p>を「目標」に友だちの顔のデッサンをする。 2時間目以降、デッサンから着彩へと制作を進める。</p>	<p>(分からない)ことに気付かせる。</p> <p>技術的な面に目標を置くが、描いていく中でどのような雰囲気が出てくるか期待を持たせる。</p>	<p>説明を聞いて理解できているか。</p> <p>友だちの顔をよく観察してデッサンを描くことができているか。</p>
--	---	---

準備物

- ・鑑賞作品の複製版
- ・ワークシート

<p>参考文献・資料</p> <p>広島県立美術館所蔵作品図録 広島県立美術館 1990年 廿日市市が生んだ日本洋画壇の巨匠 小林千古画集 廿日市市 1988年 和高節二画集・野に生きる 和高節二画集刊行委員会 1989年 霞光と交友の画家たち展図録 広島県立美術館 2001年 南薫造展 - イギリス留学時代を中心に - 図録 広島県立美術館 1998年 浜崎左髪子画集 浜崎左髪子画集編集委員会 1995年 1940-60年代広島洋画の粋展図録 広島県立美術館 2004年 広島県立美術館ワークシート「コミサ(洋傘による少女)」</p>

表現導入鑑賞プリント

黒板に掲示された1～10の作品の第一印象を漢字2文字で表してみよう。

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10

人物画の構図

A B C D



A (頭) 像 ()

B (胸) 像 ()

C (半身) 像 ()

D (全身) 像 ()

群像 ()

点景 ()

トルソ

小早川篤四郎「少女全身」より

デッサン

単色の線や筆触によって物の形・明暗などを描いたもの。素描。(広辞苑)

クロッキー

短時間とする写生。速写。英語のスケッチに相当する語。

わが国では写生をスケッチ、略画・速写画をクロッキーという。(広辞苑)

「友達顔」をデッサンしよう(目標)

- ・構図～頭像または胸像。画用紙の大きさに対して小さくなりすぎないようにしよう。
正面から斜め前ぐらいの角度で。

- ・形～見える形をできるだけ正確に描くようにしよう。

- ・明暗～陰影をよく見て鉛筆で濃淡をつけよう。

平成	年	月	日()	曜日
	第	学年	組	番 氏名